

《マレーシア》

〔治安情勢〕 テロ対策部のアヨブ・カン部長が人事異動：テロ分子摘発に貢献

— ジョホール州警察本部長に「栄転」：後任（未定）に注目 —

2020年2月10日（月）

マレーシア連邦警察公安局テロ対策部（機関コード名は「E8」）のトップとして過去4年間、イスラム過激組織「イスラム国（IS）」系の地元組織やテロ細胞のメンバー・支持者などの摘発・逮捕で陣頭指揮を執ってきたアヨブ・カン・マイディン・ピッチャイ（Datuk Ayob Khan Mydin Pitchay）同部部長（54歳）が（マレー半島最南端）ジョホール州の警察本部長に異動となる人事が2月6日付で発令された。人事の発効（正式就任）は3月6日付で階級もコミッショナー（police commissioner：本部長級）に昇進する。

テロ対策部は2013年以降、現在までにISメンバー・支持者を500人以上逮捕してきたが、その大半はアヨブ・カン部長が就任した2016年8月以降に執行されており、同部長は、マレーシアはもとより世界各国のテロ当局者からもその業績が高く評価されてきた。

それだけに、今回の同部長の異動は、地元メディアはもとより海外メディアも東南アジアの国の一警察官僚の人事にしては大きな扱いで報じている。ジョホール州は、シンガポールに隣接する州都のジョホールバルがマレーシア第2の都市であり、同州本部長就任は明らかな栄転である。また、同州はマレーシアでは他州と比較しても犯罪発生率が高く、治安の悪い地域として知られており、アヨブ・カン新本部長には同州の治安改善に辣腕を振るって欲しいとの期待も込められた人事だといえる。

アヨブ・カン氏の異動については、半年ほど前から警察組織内では噂に上っていたが、同氏本人には事前に内示などはなく、具体的な異動先が知らされたのは、アブドゥル・ハミド・バドル（Abdul Hamid Bador）連邦警察長官が6日夜に長官室で同氏に直接辞令交付した時が初めてだという。

アブドゥル・ハミド長官は7日、地元メディアに対して、「彼（アヨブ・カン氏）は（テロ分子摘発で）すばらしい仕事をした。今後は外（ジョホール州）に出て活躍する機会を与えることにした」と人事について説明した。

同氏本人は警察人生の大半を公安警察畑一筋で来ただけに、州警察本部長就任について、「自分にとっては新しい任務だ。インシャラー（アラーの御心のままに）、自分の能力の全てを尽くして任務を遂行したい」と語っている。

ところで、注目されるのは、同氏の後任の新テロ対策部長だが、7日現在、これに関する人事は発令されていない。

〔人物データ〕

■アヨブ・カン・マイディン・ピッチャイ Datuk Ayob Khan Mydin Pitchay



マレーシア連邦警察公安局テロ対策部（E8）を過去4年間率いてきた。ISメンバー・支持者などテロ容疑者の捜査・摘発状況について報道陣に時々のブリーフィングを行い、国際的にも良く知られたテロ問題の専門家でもある。2016年の同部長就任直後から、インドネシアのIS系組織による暗殺テロ計画のターゲットになったほか、現在まで様々な殺害予告などの脅迫を受けてきた。そのため、周辺には常に厳重な警護態勢が敷かれている他、同じく警察高官である夫人や2人の娘とともに公共の場に出ることはめったにない。

▼1965年、北部・クダ州ペンダン（Pendang）郡生まれ。地元の大学から経営学士号と理学修士号（情報技術）を取得。1991年に連邦警察入庁後、同庁刑事局の刑事として勤務。94年同庁公安局（speciak branch）テロ対策室（現テロ対策部）に異動（以来、現在まで一貫して同局幹部として勤務）。2016年8月11日から公安局テロ対策部（E8）部長（一現在）。2020年3月6日にジョホール州警察本部長に就任（予定）。

以上